

Explore Ibaraki-Hidden Christian Village

実施日：2022年10月15日（土）

参加：IIN 会員24名、ゲスト7名

行先：茨木市立キリシタン遺物史料館、
寺山「上野マリア」銘墓碑、竜王山荘



野外活動” Explore Ibaraki” 4 回目、今回は、茨木市北部里山の『隠れキリシタンの里』を訪れました。『隠れキリシタンの里』は以前から候補に挙がっていたものの、その距離や山道が不安材料となり、なかなか踏み切れなかったところですが、しかし「地元に住んでいながら、なかなか訪れるチャンスが無い山里にみなさんをお連れしよう！茨木の地に隠れキリシタンが住んでいた事、あの誰もが知っているフランシスコ・ザビエルの肖像画が千提寺の民家で見つかった事をどれだけの人が知っているの??? 折角なんだから、色々調べてみよう！それに今まで、ご参加くださった会員の皆さんの健脚ぶりを考えれば No Problem だ！！」との判断に至った次第です。

今回は、3年ぶりに外国人をお知り合いに限ってお誘いし、結果31名の団体となりました。当日はよい天気（ほぼ夏日）、よい雰囲気、歴史に思いを馳せながらの交流を皆さん楽しまれたのではないかと期待しております。

では、詳細です。

8：40 阪急茨木市駅集合

毎回、この集合で「異文化」を痛感？学習？します。

「時間に正確」な日本人と「おおらかな」大陸の人たち。

時間通りに現れないゲストに、「来ないのかな…?」「連絡つかへん」と心配し、慌てましたが、何とか全員、集合。欠席者なし。



8:50 竜王山荘のバスと会員の車に分乗して出発

バス内では分科会代表から“Be punctual. Keep traffic rules.”と野外活動の基本の確認がありました。今回、会員が出して下さった、予備の車が一台あって、色々なシーンで大活躍して頂き、大変助かりました。お働き、感謝です。



9:30 キリシタン遺物史料館到着。

キリシタン遺物史料館は、収容人数が15名。そのため参加者を2グループに分け「館内見学」と「史料館前での説明」を前半・後半で交代する形で行いました。

館内には、この地区に住む人々が命がけで伝えてきたキリシタン遺物が約70点。その中には、日本の歴史教科書には必ず出てくる「フランシスコ・ザビエル」の肖像画（複製）もあります。

隠れキリシタンに関する英語版DVDも完備しており、外国の方にはあまり知られていない日本の歴史を知っていただけます。

史料館前では、館内見学の待ち時間を利用して「キリシタンの歴史、踏み絵・高札、キリシタン遺物」の説明を分科会メンバーが行いました。皆さん、興味を持って、よく聞いて下さり、感嘆の声があがっていました。野外活動分科会も勉強のし甲斐がありました。



10:30 史料館を出て、ハイキング開始

自然遊歩道、約1時間のハイキングです。普段、こんなに山歩きをしたことがなく、心配しましたが、全員無事に歩き通せました。

途中、高山右近像の前で「高槻時代の高山右近」「金沢時代の高山右近」の説明がありました。右近は高槻を出た後26年間も金沢で活躍していたのですね。「知らないことが多くて、色々学べた。特に金沢での右近の話は全くの初耳で驚いた」と嬉しい

感想もお聞きしました。片や野外分科会メンバーは、「お伝えしたい事はまだまだいっぱいあって、短くまとめねばならないのが残念！」と言っています。

自然歩道をちょっと脇にそれて、寺山の「上野マリア」銘墓碑（複製）へ。この墓碑こそが、この辺りが隠れキリシタンの里であることを決定づけるきっかけとなった墓碑です。「上野マリア」銘墓碑発見は大変ラッキーなことでした。キリシタン墓石の中には、発見時、寺の沓脱石や手水鉢の台石に転用されているものもあり、もし「上野マリア銘墓碑」が発見されていなければ『隠れキリシタンの里』は知られないままだったのかもしれない。「上野マリア」銘墓碑のある寺山からは、もう一つのキリシタン墓地があった「クリス山」を見渡せますが、今は、新名神高速道路の開通に伴いクリス山の一部が削られ、往時の雰囲気は味わえません。



竜王山荘まで、もう一息のところまで「棚田」の説明。「『棚田』はまさにSDGsそのもの」との説明に、モンゴルの小学生が「そのSDGsのマーク知ってる！」と元気よく反応してくれたのも嬉しいことでした。

最後はラストスパートの元気づけにダムカレーの説明。安威川ダムのPR事業の一環として作られたダムカレーはダム周辺の風景をイメージしたもので随所にこだわりがあります。半熟卵を割ってとろりと流れる黄身をダムの放流に見立てているそうです。そのカレーを楽しみに最後の力をふり絞り竜王山荘へ。



11:30 竜王山荘到着、昼食

忍頂寺スポーツ公園竜王山荘でお楽しみのダムカレーをいただきました。大人数の注文だったせいか、fried egg に余熱で火が入ったのでしょうか？ とろり具合が、微妙に違っていたし、盛り付けも卵が沈んでいて、少し残念。

外国人の方は、燈籠庵定食を選ばれました。純和風の定食で楽しんでいただけたら嬉しいです。



1:00 竜王山荘前で集合写真

ひさしぶりの皆さんとの会食、歓談で全員元気を取り戻し、バス停へ。

一人の欠席者も無く、おまけに快晴に恵まれてのハイキング、とても爽やかで楽しかったです。怪我も遅れも無く無事に自然歩道を踏破できたことは本当に良かったです。



「コロナ禍でもできることを」と、始めた Explore Ibaraki ですが、茨木にはまだまだ知らないところがいっぱいあり、メンバーで調べた内容、しかも英文！で作成できたことは大きな財産になりました。皆さんにとっても、地元に向け、身近を探訪するよい機会となれば幸甚です。

以下に参加されたゲストの方々からの感想を抜粋してご紹介します。

* It was such a pleasure spending time with IIN members. We truly enjoyed every part of the day and there are not enough words to express my gratitude for having us! It was a very well-organized event. We learned a lot of new things about the Ibaraki area, I had no idea about the hidden Christian community. I also found very fascinating the presentation on Japanese rice-growing technology.

*Of course, I enjoyed it a lot and had warm conversations with all of you. You are all very kind and friendly.

The event was excellent, and I am looking forward to joining all your outdoor activities in the future.

*こちらこそありがとうございました。

The most difficult part was waking up before 6 in the morning (ja ja ja) but apart from that I enjoyed thoroughly our encounter and our excursion. Moreover we had a gorgeous weather.

The relics depository was interesting but not large and knowing that you all balanced it with your well elaborated presentations. I was very surprised that so many of you did research on the subject. On top of that, it was obvious that you had already been there taking care of all details. You all did a great work.

*Everybody was friendly and the long walk was a good opportunity to talk and to exercise.